



奈良県経済の概況

一部に弱さもみられるものの、緩やかに持ち直しの動きが広がりつつある

個人消費 ▶▶▶ 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 4 か月ぶりの増加

住宅着工 ▶▶▶ 新設住宅着工戸数は前年同月比 3 か月連続の減少

公共投資 ▶▶▶ 県公共事業契約済額は前年同月比 3 か月ぶりの増加

雇用情勢 ▶▶▶ 有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント上昇の 1.33 倍

企業倒産 ▶▶▶ 倒産件数は 2 か月ぶりの一桁台

生産活動 ▶▶▶ 鉱工業生産指数は前月比 4 か月ぶりの上昇

1

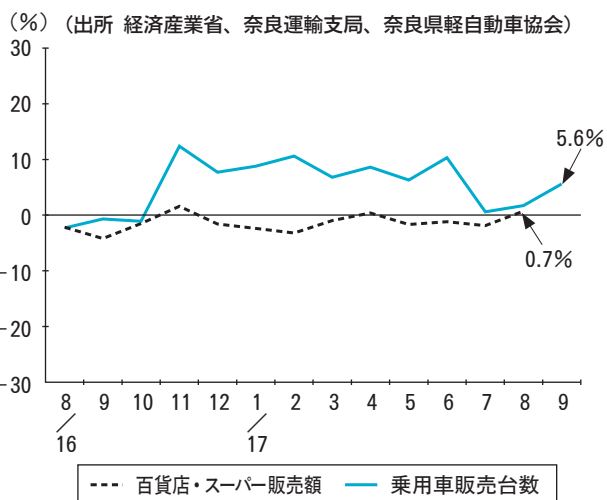
個人消費

百貨店・スーパー販売額は前年同月比 4 か月ぶりの増加

8月の百貨店・スーパー販売額（全店ベース、速報）は、前年同月比 0.7%増の 189 億 87 百万円と 4 か月ぶりの増加。衣料品は同 1.2%増、飲食料品は同 1.0%増となった。なお、既存店ベースでは同 0.2%増と 9 か月ぶりの増加。

9月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は前年同月比 5.6%増の 4,340 台と、11 か月連続の増加。車種別にみると、普通乗用車は同 4.5%増の 1,549 台と 2 か月連続の増加、小型乗用車は同 1.1%増の 1,201 台と 2 か月連続の増加。軽乗用車は同 10.4%増の 1,590 台と 2 か月ぶりの増加となった。

百貨店・スーパー販売額、乗用車販売台数（前年同月比）



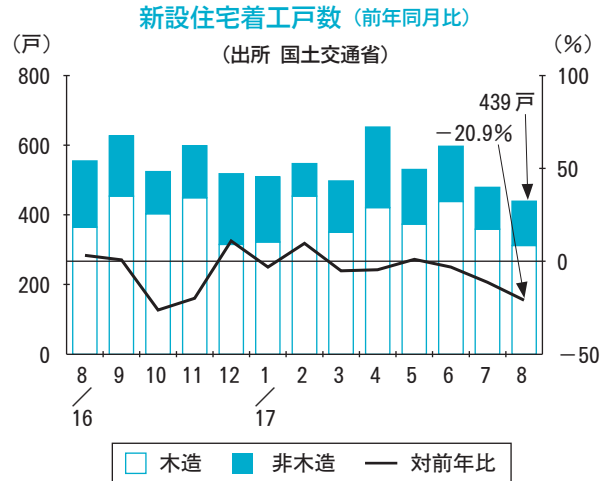
2

住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 3 か月連続の減少

8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 20.9% 減少し 439 戸。持家、貸家、分譲住宅の全てで減少した。全体では 3 か月連続の減少。

利用関係別にみると、持家は前年同月比 23.9% 減の 169 戸と 4 か月連続の減少、貸家は同 21.7% 減の 162 戸と 3 か月連続の減少、分譲住宅は同 12.9% 減の 108 戸と 6 か月連続の減少となった。



3

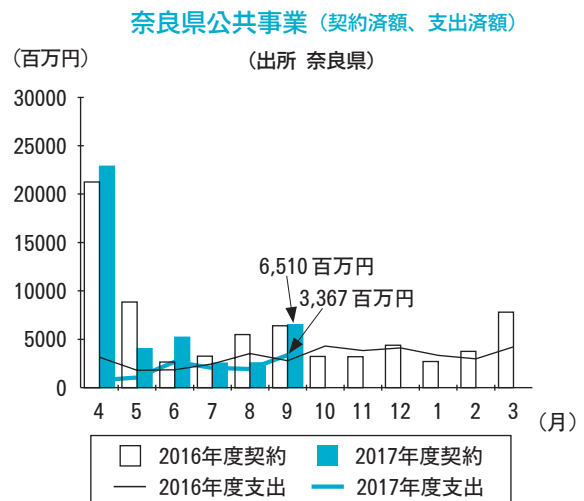
公共投資

県公共事業契約済額は前年同月比 3 か月ぶりの増加

9月の奈良県の公共事業等事業施行状況は、契約済額が前年同月比 1.8% 増の 65 億 10 百万円と 3 か月ぶりの増加、支出済額は 21.1% 増の 33 億 67 百万円と 3 か月ぶりの増加となった。

次に、西日本建設業保証の保証取り扱いから 9 月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比 37.9% 減の 78 億 47 百万円と 5 か月ぶりの減少。

発注者別にみると、国は 7 億 96 百万円（前年同月比 68.3% 減）、独立行政法人等は 57 百万円（同 20.2% 減）、県は 44 億 63 百万円（同 1.3% 減）、市町村は桜井市の旧焼却施設等の解体工事などにより 25 億 11 百万円（同 52.7% 減）、その他の公共的団体は 20 百万円（同 90.8% 減）となった。



4

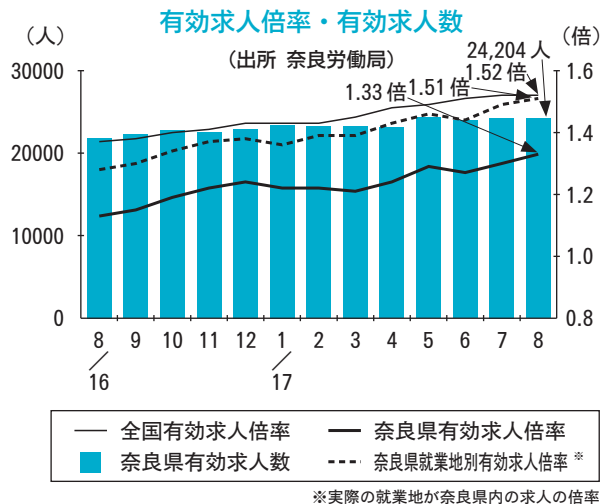
雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント上昇の 1.33 倍

8月の雇用情勢をみると、求人数は、新規求人数（季調値）が前年同月比 13.0%増の 8,963 人と 5 か月連続の増加、前月比は 4.5%増。有効求人数（同）は前年同月比 9.7%増の 24,204 人と 28 か月連続の増加、前月比は 0.3%減。

一方、求職者数は、新規求職者数（季調値）が前年同月比 5.1%減の 4,389 人と 4 か月連続の減少、前月比は 1.3%増。有効求職者数（同）は前年同月比 6.5%減の 18,264 人と 20 か月連続の減少、前月比は 1.9%減。また、雇用保険受給者の実人員数は前年同月比 6.7%減の 4,601 人と 18 か月連続の減少。

以上により、新規求人倍率（季調値）は 2.04 倍（前年同月比 0.33 ポイント上昇、前月比 0.06 ポイント上昇）となった。有効求人倍率（同）は 1.33 倍（前年同月比 0.20 ポイント上昇、前月比 0.03 ポイント上昇）となった。なお、就業地別有効求



人倍率は 1.51 倍（前年同月比 0.23 ポイント上昇、前月比 0.02 ポイント上昇）であった。

5

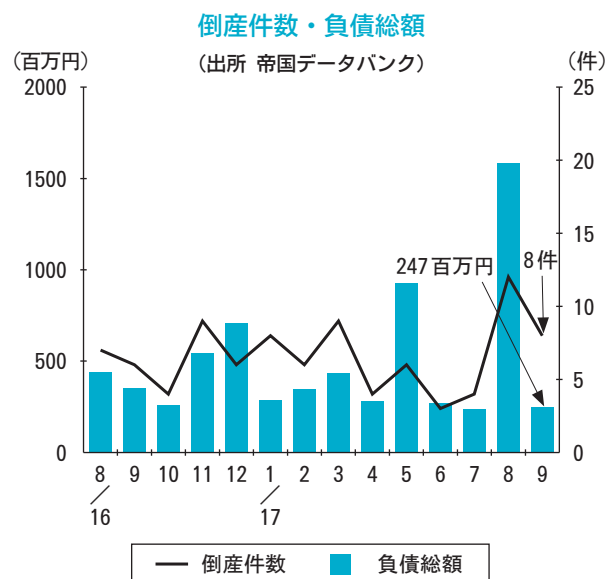
企業倒産

倒産件数は 2 か月ぶりの一桁台

9月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 33.3%増の 8 件で、3 か月連続の増加となったが、2 か月ぶりの一桁台。負債総額は同 29.8%減の 2 億 47 百万円と 5 か月ぶりの減少となった。

負債額別では、1,000 万円～5,000 万円未満が 7 件、1 億円～5 億円未満が 1 件となった。

従業員別では、全てが 0～4 人であった。要因別では、全てが競争の激化や消費動向の停滞などを背景とした販売不振であった。業種別では、建設業が 4 件、サービス業が 2 件、小売業とその他が各 1 件であった。倒産形態では、自己破産が 7 件、民事再生法が 1 件であった。



6

生産活動

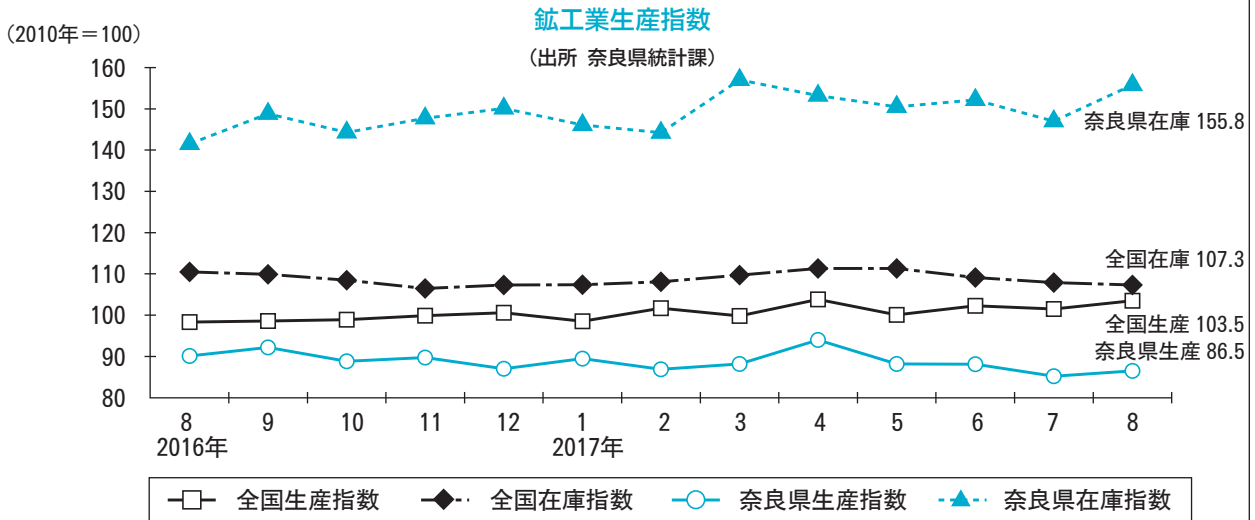
鉱工業生産指数は前月比4か月ぶりの上昇

8月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比1.5%上昇の86.5となり、4か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比3.9%低下の83.3となり、9か月連続の低下。在庫指数（季調値、速報値）は、前月比6.0%上昇の155.8となり、2か月ぶりの上昇となった。

業種別生産指数の動きを見ると、一般機械工業、輸送機械工業、化学工業等の12業種が前月上

昇し、金属製品工業、窯業・土石製品工業、電気機械工業等の5業種が同低下となった。

100.0を超える水準にあるのは、印刷業（167.4）、パルプ・紙・紙加工品工業（130.4）、化学工業（127.4）、その他製品工業（121.6）、輸送機械工業（107.9）、一般機械工業（107.4）の6業種となり、前月と同数となった。



奈良県鉱工業生産指数、在庫指数の業種別の動き（8月）

(注) 生産系列の総合指数（季節調整済指数）で上昇・低下に寄与した業種の順番で掲載している。前月比、前年同月比は（%）

業 種 名	生 産				在 庫		
	季節調整済指数		原 指 数	季節調整済指数		原 指 数	
	前月比	指 数	前年同月比	前月比	指 数	前年同月比	
上	一 般 機 械	11.4	107.4	4.4	16.1	238.4	4.1
	輸 送 機 械	6.3	107.9	5.9	—	—	—
	化 学 工 業	7.8	127.4	0.9	▲9.1	112.8	1.2
	パルプ・紙・紙加工品	6.7	130.4	4.3	6.2	211.3	20.8
	印 刷 業	2.3	167.4	7.9	—	—	—
	木 材 ・ 木 製 品	5.3	93.9	9.2	2.2	125.4	6.5
	皮 革 製 品	35.7	68.4	10.1	1.8	101.9	6.4
	そ の 他 製 品	1.9	121.6	▲7.5	x	x	x
	食 料 品 ・ た ば こ	0.4	99.3	3.9	▲2.7	113.3	▲2.7
	ゴ ム 製 品	2.1	78.5	5.9	1.1	104.4	28.7
	鉄 鋼 業	2.4	93.8	4.4	▲2.4	148.2	▲3.6
	プ ラ ス チ ッ ク 製 品	0.3	86.3	▲3.9	▲12.2	80.7	▲14.9
低	金 属 製 品	▲29.8	58.2	▲1.9	▲1.6	79.5	▲7.3
	窯 業 ・ 土 石 製 品	▲14.5	89.0	▲17.3	▲4.8	35.8	▲10.9
	電 気 機 械	▲18.2	4.5	▲88.2	▲36.5	3.3	▲65.6
	非 鉄 金 属	▲6.5	80.1	▲3.3	7.1	94.0	9.8
	織 維 工 業	▲1.4	78.6	▲8.8	3.0	119.9	9.1

(注) x：対象企業が少いため公表されていない。